



植樹に取り組む猪苗代小の児童

森を守り育てる大切さ学ぶ

びわ沢原森林公園でうつくしま育樹祭

第12回うつくしま育樹祭は10月4日、びわ沢原森林公園で開かれ、町内外の小学生ら約360人が参加し森林を守り育てる大切さを学びました。

この育樹祭は、本県開催が内定した平成30年の第69回全国植樹祭のプレイベントとして開催されたもので、参加者は、サクラやコナラの苗木を植樹したほか、人工林の手入れなどの育樹活動に汗を流しました。

過酷なレースに約200人が挑戦

ばんだい×2でゲレンデ逆走マラソン

ゲレンデ逆走マラソンの今シーズン第5戦は10月4日、ばんだい×2スキー場で開かれ、約200人が健脚を競いました。「3時間の周回数を争う耐久レース」という厳しい内容に参加者も苦戦しましたが、ランナーズピットでお菓子やお茶を補給し、元気に頑張っていました。スキーリゾートふくしま創造会議によるおもてなしや福島医療専門学校のマッサージサービスなども好評で、ランナーたちは秋晴れの中、初秋の空気を満喫していました。



勢いよくスタートする参加者

保存活動の功績が認められる

「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」が受賞

沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会(出口陽子会長)は、沼尻鉱山や軽便鉄道に関する資料の収集と展示、長年にわたる地道な活動が高い評価を受け、鉄道史学会住田奨励賞特別賞を受賞しました。表彰式は10月4日、東洋大学で行われました。出口会長らは10月10日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告。出口会長は「思いがけない受賞で喜んでいる。これからも背伸びをしないで軽便のスピードで活動を続けていきたい」と話しました。



受賞の報告に訪れた出口会長(左から2人目)ら

ひでよくんが一日警察署長に

猪苗代小で啓発活動を実施

猪苗代警察署は10月10日、町のご当地キャラクター「ひでよくん」を一日警察署長に委嘱しました。同署で竹田正人署長から委嘱状を受けたひでよくんは、猪苗代地区少年警察ボランティア協会の真田隆会長らと猪苗代小を訪問。知らない人にはついていかないよう児童たちに呼び掛けました。同協会員らは防犯標語「いかのおすし」のチラシやばんそうこうなどが入った啓発グッズを児童らに手渡しました。



猪苗代小の児童に囲まれるひでよくん



1

町内を高校生ランナーが力走

県高校駅伝を3年ぶりに本町で開催

第59回県高校駅伝・第32回県高校女子駅伝は10月15日、カメリーナをスタート・ゴールに開かれました。3年ぶりに本町で開催されたこの大会には、男子43校、女子23校が出場。好天の下、選手たちが秋の猪苗代路を駆け抜けました。レースは男子7区間42.195^キ、女子5区間21.0975^キで争われ、男女とも学法石川高校が優勝を飾りました。町内からは5人の選手が出場し、地元の大きな声援を受けながら力強い走りを見せました。

1_男子のスタート。猪苗代小の6年生らも沿道で声援を送った 2_大堀優太選手(葵高1年・吾妻中卒=5区)から国分伊三郎選手(同1年・猪苗代中卒=6区)へのタスキリレー 3_長谷川尚大選手(会津学鳳高3年・猪苗代中卒=7区) 4_力走する大塚翔琉選手(喜多方桐桜高1年・猪苗代中卒=4区)



2



3



4



結団式で宣誓する半澤主将

ふくしま駅伝の健闘を誓う

学びいなで町選手団の結団式

第26回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)の町選手団結団式は10月19日、学びいなで行われました。前後公町長が「他チームとも交流を図り、思い出に残る大会にしてほしい」とあいさつし、長沼一夫議長が祝辞を述べました。渡部敏弘監督が「大会までに練習を重ね、優勝争いに絡むレースをしたい」とあいさつした後、選手団を代表して半澤拓見主将が「タスキに思いを込め、精一杯走り抜く」と誓いました。

米価下落の対策を求める

町農業委員会が町に建議書を提出

町農業委員会の佐賀昭男会長と武田利和会長職務代理者は10月20日、町に「平成26年産米価の価格暴落による農家への経営支援策に関する建議書」を提出しました。

建議書は、本年度の米価が大幅な下落となったことを受け、本町の基幹産業である稲作に、農家が意欲を持って取り組めるよう、このような状況を打開するための総合的な経営支援対策を求める内容となっています。



前後町長に建議書を手渡す佐賀会長(中央)



猪苗代幼稚園のカーテンレールを交換する会員の皆さん

教育施設的环境向上のため

ビルドの会が教育施設補修のボランティア

町内の建設業者などをつくる、猪苗代ビルドの会(大川原世資広会長)は9月19日、教育施設補修などのボランティア活動に取り組みました。この活動は、同会の恒例行事となっており、今年で17回目を迎えました。町役場前での出発式を終えると、会員16人が3班に分かれて出発。町内の保育所、幼稚園や小中学校など13施設を訪問し、カーテンレールの交換、雨どいの修理、ドアの調整・補修などを手際良く行いました。

吉崎リイさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

10月17日に満100歳の誕生日を迎えた吉崎リイさん(不動)への賀寿贈呈式は同日、吉崎さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。前後公町長、鈴木英美町老人クラブ翁島地区会長らが賀寿や記念品などを贈ると、吉崎さんは「ありがとうございます」と元気な声で感謝を述べました。あいさつに立った長男の節夫さんは「長男として誇りに思う。1年でも2年でも長生きできるように、家族として支えていきたい」と話しました。



前後町長から賀寿を受ける吉崎さん(左)



前後町長から感謝状を受ける土屋さん(左)

教育行政発展の功績に感謝

前教育委員の土屋保則さんに感謝状

退任教育委員への感謝状贈呈式は10月1日、町役場で行われ、町教育委員を5年3カ月務め、このたび退任された土屋保則さん(堤崎)に感謝状が贈られました。

前後公町長は「長年にわたり教育行政の振興にご尽力いただきありがとうございました。これからも町政伸展のためにご協力をお願いします」と感謝の言葉を述べました。

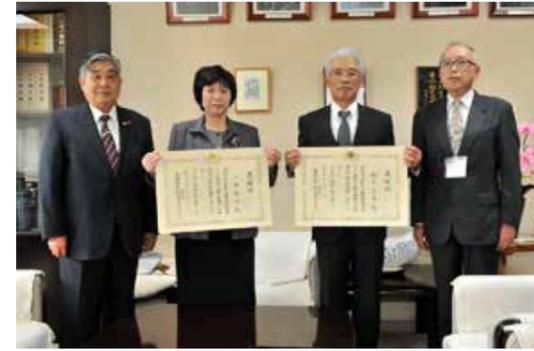
児童らがサッカーの楽しさ学ぶ

元なでしこがサッカー教室

東日本大震災に伴う原発事故の風評被害払拭に向けた活動を展開する「GAMBARUZO!ふくしま実行委員会」は10月18日、町運動公園で「サッカー教室なでしこレジェンド」を開催しました。元サッカー女子日本代表の馬場典子さん、井坂美都さん、山岸靖代さんが県内の小学生約90人に指導し、サッカーの楽しさを伝えました。終了後、ホテルリステル猪苗代で元サッカー男子日本代表の福田正博さんのトークショーが開かれました。



楽しみながら技術の向上に取り組んだサッカー教室



左から前後町長、小林さん、鈴木さん、菅野支局長

人権擁護活動への尽力に感謝

鈴木壽典さんと小林敏子さんに法務大臣感謝状

人権擁護委員を9年間務め、このたび退任された鈴木壽典さん(東南真行)と小林敏子さん(富永)に10月10日、法務大臣感謝状が贈られました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、福島地方法務局若松支局の菅野好晃支局長からお二人に手渡しました。贈呈に立ち会った前後公町長は「長年にわたる活動、本当にお疲れさまでした」と労をねぎらいました。

野口博士の語りなど楽しむ

お元気クラブ秋祭り

町社会福祉協議会が主催するお元気クラブ秋祭りは10月17日、中ノ沢体育館と町老人福祉センターで開かれ、会員約70人が参加し、運動会、いも煮会などを行いました。

アトラクションでは、いなわしろ民話の会の会員が野口英世博士の恩師や家族などに扮し、それぞれの立場から博士について語りました。最後には参加者全員で唱歌「野口英世」を歌うなどし、親睦を深めました。



「野口英世」を歌う民話の会の会員と参加者



館内に展示された作品

野口英世博士の生涯を描く

はじまりの美術館「帰ってきたDr.N」開幕

はじまりの美術館の企画展「帰ってきたDr.N」は10月18日に開幕しました。この展示は、現代美術家、小沢剛さんによる個展で、2013年6月、第5回アフリカ開発会議に合わせて横浜で開かれた企画展「帰ってきたDr.N」を、野口英世博士のふるさとである本町での開催のためにアレンジしたものです。同日は、同館で小沢さんによるトークショーも行われました。この企画展は、来年1月12日まで開かれています。

今後もますますのご活躍を

学びいなで高齢者福祉大会を開催

第45回町高齢者福祉大会は10月17日、学びいなで開かれ、町内の老人クラブ会員ら約300人が出席しました。町老人クラブ連合会の戸田忠義会長があいさつし、役員表彰、会員加入増強老人クラブ顕彰伝達の後、しあわせ金婚夫婦が表彰され、28組を代表して渡部和吉さん、征子さん夫婦(旭会)に表彰状が手渡されました。式典後は、各地区の老人クラブ会員らがアトラクションを披露し、来場者を楽しませました。



しあわせ金婚夫婦表彰を受ける渡部さん夫婦(右)